

令和 8 年度の主な事業

資料 2 - 2

<p>基本方針 1 質の高い観光により観光消費額を向上させる</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 湯の川温泉エリアプロモーション事業2. 滞在型観光推進事業3. アメリカ・オーストラリア市場プロモーション4. 航空会社とのタイアッププロモーション事業5. スマートツーリズム推進事業6. 観光駐車場キャッシュレス決済導入経費7. AI検索最適化推進事業費8. 「函館×ゴールデンカムイ」特別イベント開催負担金9. 映像コンテンツ等活用関係経費10. コンベンション誘致関係経費11. ユニバーサルツーリズム推進経費
<p>基本方針 2 観光の繁閑差を是正する</p>	<ol style="list-style-type: none">12. インバウンド直行便活用誘客促進事業13. 冬季道南周遊観光推進事業14. 青函周遊観光促進事業15. 秋季イベント（グルメワンダーパーク函館，はこだてMOMI-Gフェスタ）16. 冬季イベント（はこだてクリスマスファンタジー，（仮称）はこだてウインターイルミネーション）
<p>基本方針 3 函館観光を盛り上げる人を増やす</p>	<ol style="list-style-type: none">17. 観光産業人材（インバウンドガイド）育成事業
<p>基本方針 4 観光を通じて函館が潤う地域づくりを進め、 観光への市民理解を促進する</p>	<ol style="list-style-type: none">18. 出前講座・学校教育
<p>その他 観光振興を図っていくうえで必要な取り組み</p>	<ol style="list-style-type: none">19. 観光入込人流データ分析・観光動向調査20. 函館港まつり

1. 湯の川温泉エリアプロモーション事業

基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる	事業費	8, 075 千円
施策	(1) 地域の観光コンテンツのレベルアップを図る	宿泊税充当額	8, 075 千円

事業目的

湯の川温泉エリア独自の魅力や楽しみ方を発掘・開発をし、旅行需要喚起や地域消費の拡大に向けて、湯の川エリアのリブランディングを実施する。

事業内容

令和7年度に湯の川温泉エリアの魅力を5つのテーマごとに表現したショート動画を作成して広告配信したほか、アンケート調査を行い、湯の川温泉エリアのブランディングに向けた基礎データを収集したところである。この結果をもとに、外部の専門家や地域関係者での意見交換会を通じてブランドコンセプトを再定義し、地域を巻き込んだブランディングやブランドコンセプトにあったコンテンツ開発などに取り組む。

- (1) ブランディング ▶ 地域事業者と連携を図りながら、ブランドイメージの浸透を図る（ブランドコンセプトに合った印刷物の制作など）
- (2) コンテンツ ▶ ブランドコンセプトにあったコンテンツの造成（例：観光マップや体験イベント等の造成）

2. 滞在型観光促進事業

基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる	事業費	6, 265 千円
施策	(1) 地域の観光コンテンツのレベルアップを図る (1.1) 多様なニーズに対応したコンテンツ	宿泊税充当額	6, 265 千円

事業目的

魅力あるコンテンツを増やすことで平均宿泊数を増やし、道南での延べ宿泊客数1, 000万人を目指す。

事業内容

- (1) 早朝・ナイトタイムコンテンツの造成
早朝コンテンツ造成（案：早朝の西部地区散策ツアー、スルメイカの競り見学ツアー）、夜間の観光客の行動・先進地調査、早朝・ナイトタイムコンテンツの魅力発掘
- (2) ペットツーリズムの推進
ペットツーリズム勉強会の開催、OTA（Online Travel Agent）と連携したプロモーション（宿泊施設のペットプランなどを掲載した特設ページの開設）
- (3) 東部地域コンテンツの造成支援
アウトドア志向やサステナブルツーリズムに関心の高い欧米豪インバウンド等を主なターゲットとしたコンテンツ造成

3. アメリカ・オーストラリア市場プロモーション事業

基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる	事業費	4, 7 2 6 千円
施策	(4) 欧米向けプロモーションの強化	宿泊税充当額	1, 3 3 6 千円

事業目的

- (1) アメリカ市場プロモーション事業
北海道観光機構が設置しているアメリカ向け北海道観光レップ（アメリカ現地営業拠点でのセールス活動を委託する事業）の受託事業者により現地でのプロモーション業務を委託する等の事業により、本市認知度および来函意欲の向上を図る。
- (2) オーストラリア市場プロモーション事業
オーストラリアは欧米と同様に訪日滞在期間が比較的長く、滞在中の消費額も多い市場である。令和7年12月にはカンタス航空（新千歳－シドニー間）が就航し、引き続き増加が見込まれる市場であることから、本市の認知度向上および誘客を目的とする。

事業内容

- (1) アメリカ市場プロモーション事業
- ・アメリカ国内で開催する旅行博への代理出展
アメリカ西海岸において最大規模のBtoC旅行博「Los Angeles Travel & Adventure Show」に北海道観光機構と共同で出展し、北海道ならびに函館へのアメリカ人旅行者誘致のためのセールス活動や最新観光情報の提供、誘客プロモーションを行う。
 - ・アメリカ国内で開催する観光商談会代理出席
函館を含む商品の造成を図るため、日本側サプライヤーとして、海外バイヤーへ函館の魅力を伝え、商品造成に向けた商談を実施する。
 - ・現地旅行会社・メディア等への代理営業活動
現地旅行会社、トラベルデザイナー、主要メディア、業界キーマン等への営業活動を行う。（年間10社以上）
 - ・ニュースリリースを活用した函館の代理情報発信
旅行会社や旅行関連メディア、現地マスコミ等へ函館の観光情報発信を行う。（年間2回程度）
 - ・現地市場の情報収集および分析とミーティング開催
訪日旅行に関する市場のニーズや動向等の情報収集と、収集したデータを関連づけた詳細な分析、考察を行い、書面での報告およびオンラインミーティングを隔月実施する。
 - ・その他プロモーション
現地旅行会社へのプロモーションを実施する。
- (2) オーストラリア市場プロモーション事業
- ・オーストラリアで開催されるBtoB商談会「Japan Roadshow 2026」に北海道観光機構と共同出展し、現地旅行会社に対して函館のプロモーションを行い、現地旅行会社とのネットワーク構築および函館を含む訪日旅行商品の造成に繋げる。

3. 航空会社とのタイアッププロモーション事業

基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる	事業費	8, 9 3 1 千円
施策	(6) 観光消費の機会拡大に向けた適切な情報発信	宿泊税充当額	7, 5 0 1 千円

事業目的

全国際路線における航空機へ搭乗する乗客（月平均搭乗者数：ANA約65万人/JAL約55万人）に対して、函館市のプロモーション動画を航空機内座席モニターで放映することにより、本市の認知度向上および来函意欲の向上を図る。

事業内容

- ・既存のプロモーション動画を活用し、30秒の機内広告用に編集する。
- ・国内大手航空会社2社の全ての国際路線における航空機内の座席モニターで海外ビデオプログラム上映前に、30秒の函館市のプロモーション動画を3か月間放映する。（1社1か月から2社3か月に増加）

4. スマートツーリズム推進事業

基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる	事業費	11,230千円
施策	(7) 函館観光の利便性を高める取組み	宿泊税充当額	6,441千円

事業目的

函館山山頂展望台等における観光客の混雑状況の緩和や、八幡坂でのマナー違反の未然防止に向けた取り組みを行い、市民や観光客の満足度向上を図る。

事業内容

(1) 混雑情報配信システム改修

函館山の夜景時間帯に発生する混雑状況に対して、利用時間帯の分散化を図るために混雑状況配信システムを稼働しているところであり、現在不足しているバスなどの交通アクセスに関する情報を追加する。

山の混雑情報



交通情報



- ・登山バスの運行情報
- ・下山するバスの運行情報
- ・バス停待機列のライブ情報 等



混雑対策



- ・バス停における待機列の可視化
- ・停留所の混雑の可視化により、“今は行かない選択”を生み出す
- ・ロープウェイとバスの相互補完により二重の混雑を緩和

満足度・消費額向上



- ・待ち時間ロスを削減
- ・「情報の可視化」による安心感の向上
- ・待ち時間を「買い物・飲食」に転換し、消費を拡大

(2) 八幡坂でのマナー啓発

令和7年度の実施結果より、特定の時期※に限定し集中してスタッフ巡回を実施する。※令和8年10月（国慶節）、12月～2月（ライトアップ期間・春節）を予定。レンタカーやタクシーによるマナー違反が見られることから、周知ツール（チラシ等）を作成し、八幡坂でのマナー啓発を実施する。

5. 観光駐車場キャッシュレス決済導入経費

基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる	事業費	27,186千円
施策	(7) 函館観光の利便性を高める取組み	宿泊税充当額	0千円

事業目的

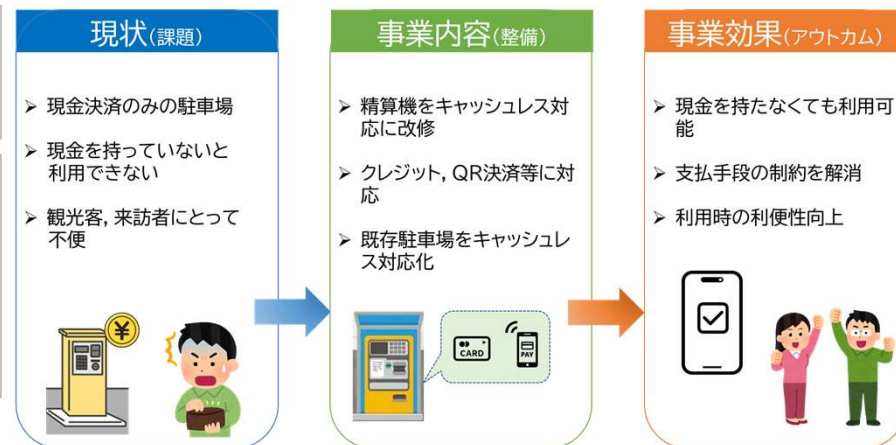
五稜郭観光駐車場・函館山山麓観光駐車場の利用者の利便性向上を図るため、キャッシュレス決済に対応した自動管理システムを導入。

事業内容

これまで現金のみであった駐車場利用料金の支払い方法について、多様な決済方法（クレジット、電子マネー、交通系IC、QRコードなど）に対応した駐車場自動管理システムの導入。

<対象駐車場>

函館市五稜郭観光駐車場と函館山山麓観光駐車場に各1基ずつを導入する。



6. A I 検索最適化推進事業

基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる	事業費	3,000千円
施策	(11) デジタル技術を函館観光に取り入れる	宿泊税充当額	3,000千円

事業目的

A I 検索の普及により、はこぶらが引用されづらくなっており、市の公式観光情報サイト「はこぶら」の情報がA I 検索において、適切に認識・引用されるための対策（サイト構造調査、一部ページの修正・効果検証）を実施する。

事業内容

はこぶらサイトの構造調査を行ったうえで、特定テーマにおけるA I O対策（A I 検索の最適化）の効果検証を実施する。

- (1) A I 検索最適化のための現はこぶらサイトの構造調査
 - ▶ A I 検索トラフィック調査・分析
- (2) 特定テーマにおけるA I O対策の実証および効果検証
 - ▶ キーワード・フレーズ策定、A I 検索で引用される施策策定
- (3) 効果測定
 - ※ A I O対策：A I が情報を正しく理解し、回答に引用できる状態へ最適化する対策

7. 「函館×ゴールデンカムイ」特別イベント開催負担金

基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる	事業費	17,000千円
施策	(11) 多様なニーズに対応したコンテンツ	宿泊税充当額	17,000千円

事業目的

TVアニメ『ゴールデンカムイ』の最終章が、令和8年1月から（地上波）放送されており、物語における函館は、作品終盤の激しい戦闘が繰り広げられた場所であり、五稜郭、函館山、旧ロシア領事館などが作中の舞台となる。このような中、実行委員会を組織し、同作品とタイアップした各種企画を市内で展開することにより、作品のファン層を中心とした誘客を図る。

事業内容

イベント開催日：令和8年4月28日（火）～7月26日（日） 実施団体：「函館×ゴールデンカムイ」特別イベント実行委員会
 ※イベント内容は調整中 構成団体：函館国際観光コンベンション協会、函館商工会議所、JR北海道、函館市、七飯町

8. 映像コンテンツ等活用関係経費

基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる	事業費	7,477千円
施策	(11) 多様なニーズに対応したコンテンツ	宿泊税充当額	4,703千円

事業目的

- (1) ロケーション誘致・支援推進費
 函館での映像制作の誘致を行い、函館での多くの作品の撮影に繋げるとともに、函館で撮影された映画や、テレビ、CMなどをとおして、函館の魅力を発信し、観光客の誘客に繋げる。
- (2) イベント誘致・支援関係経費
 アニメ・ゲーム等コンテンツを観光資源に活用した新たな誘客に繋げるため、函館市内で開催されるアニメ・ゲーム等の関連集客イベントに対し、市として、函館市ならではの受入支援メニューを整備し、メニューの積極的な周知および関係事業者等との折衝を重ね、これにより各ファン層を中心とした来函者を増やし、滞在や消費による経済効果を獲得することに加え、国内外での認知度のさらなる向上を目的とする。

事業内容

- (1) ロケーション誘致・支援推進費 ▶ 映画、テレビ、CM等の映像作品の誘致および函館で撮影された映画などを使った函館のPR
 (2) イベント誘致・支援関係経費 ▶ イベントの支援、誘致、受け入れ態勢の整備

9. コンベンション誘致関係経費

基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる	事業費	10,261千円
施策	(12) MICE誘致	宿泊税充当額	2,720千円

事業目的

コンベンション開催による、施設の利用料、運営費用に加え、参加者の宿泊・飲食・交通など多様な消費による、地域産業への経済波及効果の拡大。

事業内容

- ・国際MICEエキスポや北海道MICE商談会への参加
- ・学会事務局への訪問活動
- ・視察希望者への旅費助成
- ・次年度に本市で開催予定の大規模学会の視察
- ・コンベンション実態調査（コンベンション参加者への宿泊費、移動費、飲食費、参加期間中の困りごとなど実態把握の調査）
- ・コンベンション開催補助金の交付
- ・MICEサポートHPの作成
 - ▶ コンベンション開催にかかる仕出し業者、交通事業者、イベント運営会社、飲食店事業者等の情報や補助金申請の流れ、各種支援内容や施設を紹介する特設ページを開設する。
- ・MICEパッケージプランの作成
 - ▶ 参加人数規模ごとの会場利用プランや、それに伴う会場設営、敷設工事の有無、対応可能な仕出し事業者、懇親会場などを提案するモデルプランを作成する。

10. ユニバーサルツーリズム推進経費

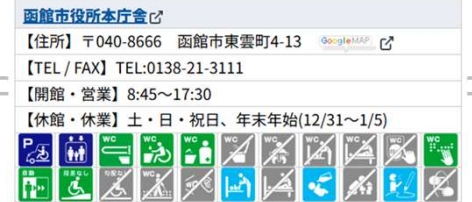
基本方針	1 質の高い観光により観光消費額を向上させる	事業費	3,953千円
施策	(13) 誰もが安心して訪れることができる観光地を目指す	宿泊税充当額	3,953千円

事業目的

高齢者や障がい者等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく安心して訪れることができる観光地を実現する。

事業内容

- (1) バリアフリー対応状況調査：市内および近郊の観光施設、宿泊施設、飲食店、交通事業者等のバリアフリー対応状況を調査。
 - ▶ はこぶらに掲載し、100件の情報発信（北海道バリアフリーマップのピクトグラムを使用予定）
- (2) バリアフリー対応ノウハウ習得セミナーの開催：バリアフリー観光サービスの向上に向け、観光関連事業者を対象に接遇ノウハウ等の取得を推進するセミナーを開催する。
 - ▶ 専門家によるバリアフリーの取り組み等の紹介、障がい者等の目線での疑似体験、障がい者等との意見交換、観光関連施設のバリアフリー対応状況の紹介など
- (3) バリアフリー観光モデルコースの造成：移動や施設利用の面で配慮を要する高齢者や障がいのある方を主な対象として、モデルコース（夏・秋）を造成する。
 - ▶ はこぶらに掲載し情報発信



出典：北海道バリアフリーマップ

1 1. インバウンド直行便活用誘客促進事業

基本方針	2 観光の繁閑差を是正する	事業費	15,150千円
施策	(1) 増加する訪日外国人観光客需要の取り込み	宿泊税充当額	8,550千円

事業目的

直行便を利用して来函する外国人観光客のさらなる誘客、ひいては観光消費額の拡大や下半期の来函外国人宿泊数の増加による本市の繁閑差の是正を目的とする。

事業内容

- (1) 台湾に向けたプロモーション
本市へ就航している台湾からの直行便（タイガーエア、スターラックス）は、台湾大手旅行会社3社がほとんどの座席をおさえ、旅行商品として販売している。この3社は令和5、6年度台湾トッププロモーションにおいて市長が直接訪問しているなど深い関係性が築かれており、これら3社と連携した広告プロモーションを実施。
- (2) 韓国に向けたプロモーション
令和7年度から就航した済州航空と共同で直行便を活用した韓国人観光客の誘客のための広告プロモーションや、韓国との直行便が就航する青森県や両エリアを繋ぐJR北海道と共同で現地旅行博へ出展するなどのプロモーションを実施。（直行便の就航状況を見ながら検討）
- (3) 中国に向けたプロモーション
直行便の新規就航へ向けた広告プロモーションや、現地旅行博へ出展するなどのプロモーションを実施。（中国情勢の動向を見ながら検討）

1 2. 冬季道南周遊観光促進事業

基本方針	2 観光の繁閑差を是正する	事業費	4,716千円
施策	(1) 増加する訪日外国人観光客需要の取り込み	宿泊税充当額	4,716千円

事業目的

北海道観光機構の統計データによると、ニセコエリアを訪れるインバウンドの83%は羽田・成田空港から入国しており、新千歳空港を使って直接入国する割合は少ない。また、羽田・成田空港から北海道まで来る手段は航空機が95%で、ほぼ新千歳空港を利用しているが、4.7%は新函館北斗駅を、1.2%は函館空港を利用しているほか、離道時には1.6%が新函館北斗駅を、1.2%が函館空港を利用している(参考：ニセコエリア（ニセコ町・倶知安町）の12月～3月の入込（宿泊客）約160万人 ※令和6年度（2024年度）北海道観光入込客数調査報告書（ニセコ町、倶知安町））。

このことから、ニセコエリアに滞在するインバウンドをターゲットとし、①タクシーでニセコエリアから函館まで来ることができることを旅マエで周知するとともに、②ニセコエリアはリピーターが多いことから令和9年度に向けて現地プロモーションやデジタルサイネージ等を活用し、函館のPRを実施する。

事業内容

- ・ニセコエリアでの現地プロモーションを実施する。
- ・本事業の周知と函館への誘客を図るリーフレットを作成する。

1 3. 青函圏周遊観光促進事業

基本方針	2 観光の繁閑差を是正する	事業費	10,413千円
施策	(1) 増加する訪日外国人観光客需要の取り込み (2) 魅力的な秋・冬のイベントやコンテンツの創出	宿泊税充当額	10,413千円

事業目的

(1) 青森県連携分

函館と青森県は「桜」「温泉」など共通する観光資源を有する一方、青森県には伝統芸能・伝統工芸など函館にはない独自の魅力があり、広域での周遊観光に適したエリアであることから、R7年度の北海道新幹線開業10周年を機に青森県と新たに連携を行い、周遊観光の促進と冬季の観光誘客について青函一体で強力的に取り組む。

(2) 弘前市連携分

本市においてシンガポールは来函外国人宿泊客数がコロナ前（平成31年）対比148%と大きな伸びを見せている市場であり、下期に60%来函している冬季誘客を図りやすい市場である。弘前市においても、シンガポールからの観光客は下期の来訪比率が高く、弘前市を訪れる外国人観光客は本市に対する関心も高い傾向にあることから同国をターゲットとし、両エリアをつなぐJ Rと連携しつつ、両市周遊ルートを確立することにより、下半期の来函外国人宿泊客数の増加および本市の認知度向上を図る。

事業内容

(1) 青森県連携分：旅行需要および旅行関心度の高い20～30代女性をターゲットに、青函エリア一体での観光プロモーションを実施する。

- ・旅行雑誌に記事広告の掲載を行う。
- ・観光プロモーションのための現地イベントを実施する。
- ・インフルエンサーによるSNSでの函館と青森県の周遊観光情報の発信を行う。

(2) 弘前市連携分：シンガポールをターゲットとした観光プロモーションの実施する。

- ・シンガポール現地での旅行博に出展する。
- ・SNS等を活用したプロモーションを実施する。

1 4. 秋季イベント（グルメワンダーパーク函館、はこだてMOMI-Gフェスタ）

基本方針	2 観光の繁閑差を是正する	事業費	31,420千円
施策	(2) 魅力的な秋・冬のイベントやコンテンツの創出	宿泊税充当額	10,537千円

事業目的

観光入込客数の少なくなる秋季・冬季における魅力の創出と地域ブランド形成を推進し、観光入込客数の増加に繋げるため、各種イベントを開催。

事業内容

(1) グルメワンダーパーク函館2026

実施団体：グルメワンダーパーク函館実行委員会
 構成団体：函館市，函館商工会議所，函館国際コンベンション協会，
 函館朝市協同組合連合会，北海道新聞社函館支社
 開催時期：令和8年9月下旬
 開催場所：はこだてグリーンプラザ，太陽パーキング
 開催内容：函館とゆかりの地域からの飲食・物販・観光PRブース，
 ステージイベント（参加自治体による観光PRイベント等）



(2) はこだてMOMI-Gフェスタ

開催期間：令和8年10月中旬～ ※開催期間延長
 開催場所：香雪園（見晴公園内）
 開催内容：紅葉や園庭のカラーライトアップ
 着物ファッションショーや着付体験
 抹茶体験
 ハンドメイドクラフト体験
 北斗紅葉回廊とのスタンプラリーイベント



15. 冬季イベント（はこだてクリスマスファンタジー，(仮称)はこだてウインターイルミネーション）

基本方針	2 観光の繁閑差を是正する	事業費	90,840千円
施策	(2) 魅力的な秋・冬のイベントやコンテンツの創出	宿泊税充当額	44,640千円

事業目的

観光入込客数の少なくなる秋季・冬季における魅力の創出と地域ブランド形成を推進し，観光入込客数の増加に繋げるため，各種イベントを開催する。

事業内容

(1) 2026はこだてクリスマスファンタジー

実施団体：はこだてクリスマスファンタジー実行委員会
 構成団体：函館国際観光コンベンション協会，函館市，函館商工会議所ほか
 開催期間：令和8年12月1日（火）～12月25日（金）
 開催内容：クリスマスツリーの設置，イルミネーション点灯
 プレミアムレッドツリー，花火打上げ
 スーパーの設置，その他各種協賛イベント



(2) (仮称) はこだてウインターイルミネーション

開催期間：令和8年12月～令和9年2月
 開催内容：3つの光をテーマとしたイルミネーション装飾
 ①はこだて冬フェスティバルエリア
 ②湯の川冬の灯りエリア
 ③五稜星の夢エリア

17. 観光産業人材（インバウンドガイド）育成事業

基本方針	3 函館観光を盛り上げる人を増やす	事業費	5, 265千円
施策	(1) 函館市民による観光の取組みへの参画を促進する	宿泊税充当額	5, 265千円

事業目的

増加傾向にある外国人観光客に対応可能なガイドを育成し、満足度向上および観光消費額の向上を図る。

事業内容

- (1) インバウンドガイド研修：レベル別の座学・実地研修を実施し、一定水準に達した者を「函館ローカルガイド人材バンク」に登録して「Travel Hakodate」などに掲載することで、質の可視化とガイド利用の促進
- (2) タクシー運転手向けガイディング研修：タクシー運転手を対象に、簡易英語・主要観光地解説等の研修を実施し、移動手段としての機能に加え、受入環境の向上
- (3) スルーガイド研修：専門家による講演会や先進地での講習会を実施し、広域周遊やテーマ性の高い案内が可能なスルーガイドを育成する。

18. 出前講座・学校教育

基本方針	4 観光を通じて函館が潤う地域づくりを進め、観光への市民理解を促進する	事業費	0千円
施策	(1) 観光の重要性の市民理解向上に向けた取組み	宿泊税充当額	0千円

事業目的

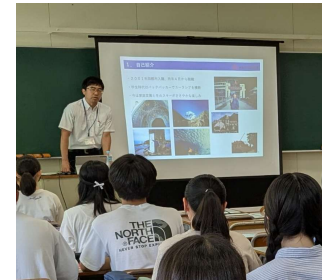
観光への市民理解を促進するため、出前講座や学校教育の機会を活用し情報発信をする。

事業内容

市内の教育機関や各種団体等からの依頼に応じ出前講座を実施し、観光の重要性に対する市民理解の向上を図る。

< 講座内容 >

函館市観光基本計画の概要、観光客誘致の施策、各種イベントの紹介など



19. 観光入込人流データ分析・観光動向調査

基本方針	その他 観光振興を図っていくうえで必要な取り組み	事業費	11,384千円
施策	各種調査	宿泊税充当額	5,575千円

事業目的

観光客の動向や満足度、消費額等を調査・分析し、今後の観光政策の企画・立案および観光基本計画における目標値の達成状況の検証に資する基礎資料を得る。

事業内容

- (1) 観光入込人流データ分析
 来函観光入込推計として公表している入込数・宿泊数の調査について、ビッグデータを活用した調査方法を導入する。
 <従来からの改善点>
 ・従来把握できなかった流入経路ごとの外国人観光客の国別把握、港まつりなどの市内イベントの入場・参加者数も計測等が可能になる。
- (2) 観光動向調査
 来函する国内・外国人観光客にWEB上のアンケートフォームで回答を収集し、多様化する観光ニーズを把握する。
 <従来からの改善点>
 ・設問数が多く回答を敬遠された可能性から、国内・外国人ともにビッグデータで代替可能な行動経路に関する設問を削除予定。
 ・外国人観光客は、調査員による直接聞き取り調査とアンケートの案内チラシ（アンケートフォームのQRコードを付す）を配布する調査を併用予定。

20. 函館港まつり

基本方針	その他 観光振興を図っていくうえで必要な取り組み	事業費	38,380千円
施策	(イ) その他イベント	宿泊税充当額	7,800千円

事業目的

港まつりにおける観光客・インバウンドの取り込みと受入環境の整備・充実については、港まつりの観光資源としての持続発展や、地域の活性化のための重要課題であり、新たに当日の受入環境の整備を行う。

事業内容

外国人観光客の参加に係る受け皿となる団体との連携等のほか、これまでは本部付近でしか周知できない状況であったアナウンス設備や音響設備の強化および警備体制の強化を図り当日参加を受け入れる体制を整備する。

